

# 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

組合員およびご家族の皆さまには、すこやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当組合の事業運営につきまして何かとご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在の日本では、経済、社会、行政においてさまざまな問題が起こっており、国をあげての構造改革が行われています。共済組合に関係する社会保障分野の問題をあげますと、伸び続ける国民医療費の問題、老人医療費の増加、高齢社会の進展に伴う年金問題、団塊世代の60歳定年による2007年問題などであり、それらが複雑に絡み合ったものとなっています。

昨年10月に厚生労働省は、医療費の適正化と新たな高齢者医療制度の創設を柱とした「医療制度構造改革試案」が出され、これをベースとして12月に政府・与党医療改革協議会から「医療制度改革大綱」が公表されました。高齢者医療制度については、75歳以上の後期高齢者医療制度を創設するとともに、65～74歳の前期高齢者については共済組合や国保に加入したまま各



職員側代表理事

山寄 健二

保険者間で財政調整をするとしています。医療制度改革案は、今年の通常国会に提出されることになっています。

また、一昨年より段階的に施行されている一連の国の年金制度改革は、今後も進められていきます。本年はさらに、年金の一元化等に関する議論も重ねられ、国としての方向性が打ち出されていくものと思われれます。わが国の年金制度もまた、従来とは大きく様変わりをする転換期を迎えているといえるでしょう。

こうした改革論議の行方に注目しつつ、当組合は、今後さらに重要性が増す、さまざまな保健事業を通して、健康づくり・健康管理へのサポートを行ってまいります。健康づくり・健康管理へのサポートを行ってまいります。皆さまにおかれましては、一年をすこやかに過ごしていただければと存じます。

最後になりましたが、皆さまにとってよき一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。